

会議の名称	平成 31 年度(令和元年度)第 1 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議
開催日時	令和元年 5 月 28 日(火)14:00~15:30
開催場所	市庁舎別館 1 階大ホール
委員	【出席者】 勝浦 :新海悦生、荻原哲夫 津屋崎:山脇清、御厨忠男 宮司 :坂根康廣、藤山昇 福間 :佐伯美保、梅谷寧次 神興 :富松享一、山西祐司 上西郷:今里幸和、櫛原純江 神興東:奥弘子、樋口英典 福間南:石橋和義、山本正則
専任事務局員	【出席者】 花田孝信、大神常男、三原道雄、廣渡策生、君嶋久美子、水上清香、古里美津子
職員	谷口総務課文書法制係長、永島総務課文書法制係員、永松学校教育課主幹兼指導主事、松崎うみがめ課長、寺島うみがめ課資源リサイクル係長、羽田野防災安全課長、松尾安心安全まちづくり係長
事務局	花田地域振興部長、辻郷づくり支援課長、徳永郷づくり支援課郷づくり支援係長、津山郷づくり支援課郷づくり支援係員
会議	内容 1. 部長あいさつ 2. 郷づくり推進協議会代表者会議について 3. 出席者の自己紹介 4. 会長・副会長の互選 5. 依頼・説明事項 (1)第 25 回参議院議員通常選挙投票管理者等の選任について (2)地域学校協働活動について (3)地域分別収集に関する現状及び意向調査の結果について (4)福津市一斉防災訓練の実施について (5)地域防災推進員(仮称)に関する説明会への出席について (6)郷づくり推進事業交付金について
	配付資料 <input type="checkbox"/> 平成 31 年度(令和元年度)第 1 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議 次第 <input type="checkbox"/> 福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱 <input type="checkbox"/> 平成 31 年度(令和元年度)福津市郷づくり推進協議会代表者会議委員名簿 <input type="checkbox"/> 投票管理者等の選任について(依頼) <input type="checkbox"/> 福津市地域学校協働活動について <input type="checkbox"/> 夏季休業中の学校閉庁日の設定について(通知) <input type="checkbox"/> 地域分別収集に関する現状及び意向調査の結果について <input type="checkbox"/> 福津一斉防災訓練実施要領(令和元年度) <input type="checkbox"/> 地域防災推進員(仮称)に関する説明会への出席について(お願い) <input type="checkbox"/> 郷づくり推進事業交付金について <input type="checkbox"/> 福津市郷づくり推進事業交付金交付要綱(抜粋) <input type="checkbox"/> 福津市訓令第 3 号 <input type="checkbox"/> 郷づくり推進事業交付金の会計処理の留意事項

会議内容(要点)

1. 部長あいさつ

花田地域振興部長があいさつを述べた。

2. 郷づくり推進協議会代表者会議について

(事務局)

郷づくり推進協議会代表者会議の趣旨、目的について、福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱を基に説明した。

3. 出席者の自己紹介

各委員の自己紹介を行った。

4. 会長・副会長の互選

(事務局)

福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱の規定により、会長1名と副会長を2名選出していただく必要がある。委員より意見が出なかったため、事務局が腹案を示し、一任いただいた。

(事務局)

会長には、福岡南地域の石橋会長に、副会長には神興東地域の奥会長、勝浦地域の新海会長に就任をお願いしたい。

・一同の賛同により承認された。

5. 依頼・説明事項

(1) 第25回参議院議員通常選挙投票管理者等の選任について

総務課が、第25回参議院議員通常選挙における投票管理者等の選任について説明した。

(総務課)

7月21日執行予定の第25回参議院議員選挙について、投票管理者等の推薦を6月21日までに別紙「推薦者一覧」によりお願いしたい。

(委員)

21日執行の決定はいつ頃なされるのか。

(総務課)

県のほうでも判りかねているようで、6月中旬ぐらいではなかろうかとの話であるが、日程等については分かり次第報告させていただきたい。

国会で閣議決定されて日程が決定するが、国会の会期が延長されれば6月20日過ぎまで決定がずれこむ可能性もある。

(2) 地域学校協働活動について

学校教育課が、地域学校協働活動について及び夏季休業中の学校閉庁日の設定について説明した。

(学校教育課)

今年度27名の地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)を配置。推進員は学校が推薦し市が委嘱している。学校と地域をつなぐ役割なので、地域の方から学校への要望等あれば、コーディネーターに伝えてほしい。

本年度は大きく6つの学校行事が予定されているので、ぜひ参加いただきたい。
8月13日から8月16日まで日直等を置かない学校閉庁日を設定させていただきたい。

(委員)

地域コーディネーターと学校運営協議会委員の兼務は運営上問題ないか。

(学校教育課)

学校運営協議会のなかに地域コーディネーターも入っていただいている。

(3) 地域分別収集に関する現状及び意向調査の結果について

うみがめ課が、昨年度実施した地域分別収集に関するアンケート結果について説明した。

(うみがめ課)

アンケート結果の内容について資料を基に説明。分別収集について、高齢化や若い人材不足、交通整理、分別方法、利用者のマナーといった問題が確認できた。今回のアンケートを参考に今後の分別収集の改善、対応について考えていきたい。

(委員)

自治会未加入者を受け入れていないことに対する対応はどのように考えているか。

(うみがめ課)

公設の分別収集ステーションは周知していくが、なるべくは地域の分別収集に受け入れていただきたい。

(委員)

アンケートに書かれている意見、要望について市は何らかの検討はしているのか。

(うみがめ課)

要望について、予算の都合はあるが、解決できるものは解決していきたいと考えている。

(委員)

このアンケートに基づいて何か今後の分別収集が変わる施策展開があるのか。また、アンケート結果を市の広報等を利用して地域や担当者に発信することなど考えているのか。

(うみがめ課)

現在このアンケートに基づいた具体的な方策は持ってないが、地域と行政だけでなく、学校等その他の組織も巻き込んで、より良い方策を考えていきたい。

(委員)

スピードアップを図る観点からも、アンケート結果の報告だけでなく、今の段階でのある程度の方針、提案があったほうがいいのか。

(委員)

当初このアンケートは改善を図るためのアンケートと聞いており、期待して回答した自治会からしたら、結果報告だけでは不満をもたれる。

(委員)

アンケート結果だけでなく、アンケートに基づいて市がどう対処していくか示さないと自治会の納得が得られないので検討していただきたい。

(地域振興部長)

市は今の分別収集は続けていきたいと思っている。今回のアンケートによって明確になってきた高齢化の問題、自治会未加入の問題等々の問題については事業者、学校等の協力も得ながら改善できたらと考えているので、もうしばらく時間をいただいて検討させていただきたい。

(委員)

どれくらい待てばよいか。

(地域振興部長)

あまり時間がかからないようにしたい。

(委員)

自治会の役員は毎年変わるので、意見等は継続的に引き継いでいていただきたい。

(委員)

アンケートに関してうみがめ課は説明に来てくれるのか。

(うみがめ課)

説明に行きます。

(委員)

分別収集は自治会ごとにやり方が違うので、自治会への説明を慎重に、丁寧にしてもらいたい。

(会長)

日程調整して、自治会長が集まる郷づくり役員会等の場とうみがめ課が説明に出向くということに対応いただきたい。

(4) 福津市一斉防災訓練の実施について

防災安全課が、一斉防災訓練について説明した。

(防災安全課)

11月9日8時45分にサイレンが鳴るので、それを合図に訓練を始めていただく予定である。市役所の訓練では災害拠点病院(宗像水光会総合病院)との連携が今年から追加されている。消防署等関係機関の招聘及び非常食受領数の要望についての希望は7月31日までに連絡をお願いしたい。

(委員)

郷づくりがどう絡んでいくかどこにも触れられていないが。

(防災安全課)

郷づくり単位、自治会単位、さらに小さい単位でやっているところがそれぞれある。各々で取り組みを考えていただき、ご相談いただければ有識者も含めて、対応させていただきたい。

(5) 地域防災推進員(仮称)に関する説明会への出席について

防災安全課が、地域防災推進員に関する説明会について説明した。

(防災安全課)

6月17日午後7時から説明会を予定しており、各郷づくりより2、3名程度の出席をお願いしたい。

6月11日までに出席予定者数について連絡をお願いしたい。

(委員)

出席者は防災推進員でなくて良いのか。

(防災安全課)

防災推進員を出してくれということではなく、防災推進員の設置が各地域にとって望ましいのか、必要かどうかも含めた話し合い、説明会になる。

(委員)

説明は市の職員がするのか、防災の専門家がするのか、またはその他の方がされるのか教えていただきたい。

(防災安全課)

今回の説明会については、この防災推進員を思い立った経緯、必要性も含めて、市のほうでの説明を考えている。

(委員)

前年度の反省会で防災無線が聞き取りづらいとの意見が出たが、検討はしていただいたのか。

(防災安全課)

防災無線はこれ以上数を増やすことは難しい状況だが、アプリなどの安価な防災ツールを増やしていくことを検討している。聞き取りづらいときに再度聞きなおす電話番号があるので、そちらの周知は今後徹底していきたい。

(委員)

市の一斉放送だけでなく、必要と思われる世帯に戸別の受信機を設置する等、補完的な施策も検討していただければと思う。

(6) 郷づくり推進事業交付金について

郷づくり支援課が、郷づくり推進事業交付金について説明した。

(郷づくり支援課)

郷づくり交付金について、予算の適正な執行と会計の透明化を図るためには、取り扱いのルールを遵守してもらう必要がある。お金の出し入れだけでなく、事業の内容、取り組み方についても交付要綱等に基づいたものとしていただきたい。

(郷づくり支援課)

郷づくり推進事業交付金については、実績報告書の内容が適正であるかを毎年審査し、不適切な部分については書面で指導を行ってきたが、改善されていない協議会が存在している現状がある。昨年度、交付金に関する監査請求があり、交付事務に関しては、透明性を高め、公金事務の適正な運用について、厳正に調査、確認するよう意見があった。各協議会におかれては、交付金の執行に関わる全ての役員、部会員、関係団体、協議会の監査員などに周知、指導をいただきたい。今年度適正でない支出があった場合は、年度末に交付金の返還命令を行わざるを得ない状況となっており、一つひとつの支出について、厳格な対応を重ねて願います。